



<定点把握感染症>

疾患名	全国		山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
	第42週	第43週	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)			(45)			(10)			(10)			(4)			(9)			(12)			
インフルエンザ	13 0.00	1 0.02			▽										1 0.11		▽				67
小児科定点 (定点医療機関数)			(29)			(6)			(7)			(3)			(6)			(7)			
RSウイルス感染症	1148 0.36	3 0.10	6 0.21	▲		1 0.17	3 0.50	▲				2 0.67	▲		1 0.17	1 0.17		1 0.14		▽	3031
咽頭結膜熱	284 0.09	11 0.38	15 0.52	▲		4 0.57	7 1.00	▲				5 0.83	3 0.50	▽	2 0.29	5 0.71	▲	1 0.14	2 0.29	▲	430
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1527 0.49	35 1.21	35 1.21			3 0.50	2 0.33	▽	26 3.71	25 3.57	▼	5 0.83	6 1.00	▲	1 0.14	2 0.29		1 0.14	2 0.29	▲	1235
感染性胃腸炎	7050 2.24	50 1.72	53 1.83	▲		14 2.33	14 2.33		9 1.29	12 1.71	▲	1 0.33	▲		16 2.67	20 3.33	▲	11 1.57	6 0.86	▽	2649
水痘	234 0.07	3 0.10			▽	1 0.17		▽				1 0.33		▽				1 0.14		▽	112
手足口病	5110 1.62		3 0.10	▲					2 0.29		▲							1 0.14		▲	65
伝染性紅斑	37 0.01																				14
突発性発しん	1161 0.37	14 0.48	12 0.41	▽		1 0.17	2 0.33	▲	2 0.29	4 0.57	▲	2 0.67	1 0.33	▽	5 0.83	3 0.50	▽	4 0.57	2 0.29	▼	614
ヘルパンギーナ	2231 0.71	1 0.03			▽				1 0.14		▽										385
流行性耳下腺炎	120 0.04	1 0.03	1 0.03				1 0.17	▲										1 0.14		▽	50
眼科定点 (定点医療機関数)			(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	3 0.00																				0
流行性角結膜炎	147 0.21		1 0.13	▲								1 1.00	▲								51
基幹定点 (定点医療機関数)			(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1 0.00																				1
クラミジア肺炎																					0
マイコプラズマ肺炎	10 0.02																				4
細菌性髄膜炎	4 0.01																				2
無菌性髄膜炎	11 0.02																				0

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

◎:警報レベル ○:注意報レベル

<全数把握感染症>

疾患名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核		1				※第42週追加報告分。
腸管出血性大腸菌感染症	1					型別:O血清群不明 VT2。
レジオネラ症	1	1			1	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	※第42週追加報告分。

<通信欄>

※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムの運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象外となりました。
山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。(QRコードを読みとるかPDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。)



※警報・注意報の基準値

疾患名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	2		2	1	1										6
咽頭結膜熱		2	8	3	1			1							15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	4	6	4	4	1	3	3	3	4			35
感染性胃腸炎		2	8	10	7	3	1	4	1	2	3	10		2	53
水痘															0
手足口病			3												3
伝染性紅斑															0
突発性発しん		6	5	1											12
ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎								1							1

< 令和3年9月 月報 >

2021年10月20日 発行

疾患名	山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)	
	8月	9月	8月	9月	8月	9月	8月	9月	8月	9月	8月	9月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	14	16	4	7		3	1	2	3		6	4	138
	定点当り	1.40	1.60	1.33	2.33		3.00	1.00	2.00	1.50		2.00	1.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	3	8	1	1			1	4	1	1		2	78
	定点当り	0.30	0.80	0.33	0.33			1.00	4.00	0.50	0.50		0.67	
尖圭コンジローマ	報告数	4	2		1			1		1		2	1	16
	定点当り	0.40	0.20		0.33			1.00		0.50		0.67	0.33	
淋菌感染症	報告数	5	8	3	2					1	2	2	5	30
	定点当り	0.50	0.80	1.00	0.67					0.50	0.67	0.67	1.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	2	2						1			2	1	33
	定点当り	0.20	0.20						1.00			0.67	0.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	18	28	2	1	5	2	1		5	10	5	20	170
	定点当り	1.80	2.80	1.00	0.50	2.50	1.00	1.00		2.50	3.33	3.33	6.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													0
	定点当り													

< トピックス >

感染性胃腸炎にご注意ください

秋から冬にかけて増加する感染症に感染性胃腸炎があり、山形県でも例年11月以降に報告数が増加します。感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌に感染したことにより起こる胃腸炎の総称で、冬季はノロウイルスによる感染性胃腸炎が多くみられます。

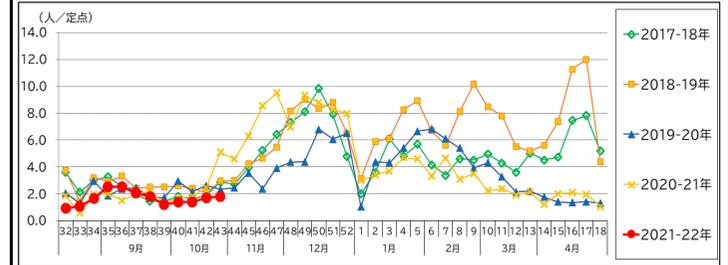


図 県内定点医療機関における感染性胃腸炎患者報告数の推移

ノロウイルスについて

1. ノロウイルスによる感染性胃腸炎とは？

ノロウイルスは、手指や食品を介して経口感染し、ヒトの腸管で増殖します。主な症状は、腹痛、下痢、嘔吐、発熱です。ノロウイルスにはワクチンがなく、基本的に治療は輸液などの対症療法による症状の緩和のみとなります。

子どもやお年寄りなどでは重症化したり、脱水症状を生じやすいので早めに医療機関を受診することが大切です。

2. 感染経路と予防のポイント

感染経路は、感染者のおう吐物や糞便に含まれるウイルスが付着した手指で口を触れることや、ウイルスに汚染された食品を食べることによる経口感染です。感染の予防には、食事の前やトイレの後に手洗いを



十分に行うことが重要です。石けんと流水で丁寧に洗いましょう。

また、症状のある方は食品を直接取り扱う作業をしないようにします。患者のおう吐物や糞便を処理する時は、手袋、マスク、エプロンなどを着用し、消毒剤には次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)を使用します。二次感染を避けるため、使用後のペーパー類等は密封して廃棄しましょう。(厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A より)